

2016年3月期
第2四半期決算説明会

2015年11月20日
株式会社 ユタカ技研

ご説明内容

Ⅰ．2016年3月期 第2四半期累計 決算概況

Ⅱ．2016年3月期 見通し

Ⅲ．事業状況

2016年3月期

第2四半期累計 決算概況

16年3月期第2四半期累計　連結決算概況

（単位：億円）

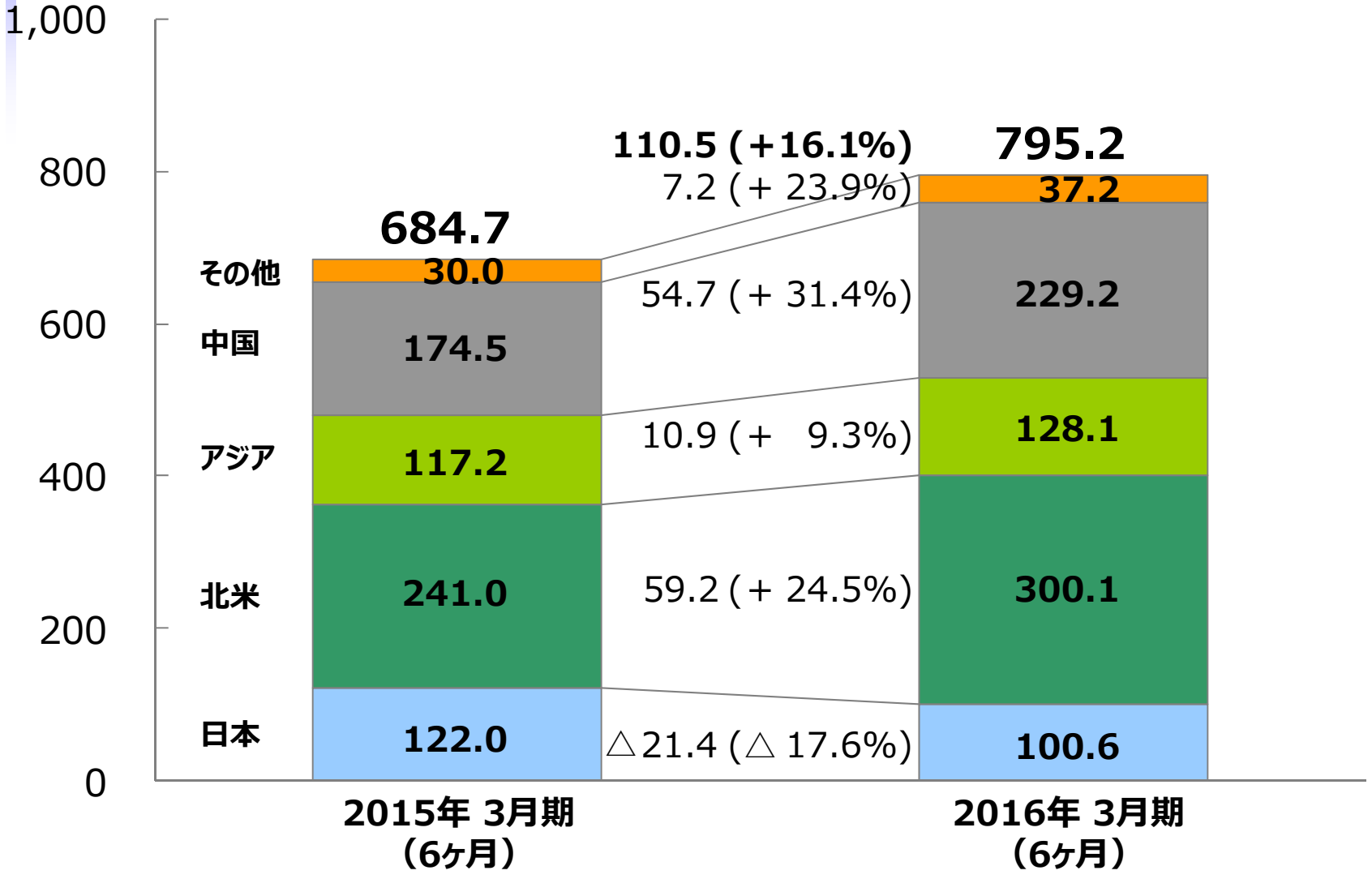
	2015年 3月期（6ヶ月）	2016年 3月期（6ヶ月）	増　減
売上収益	684.7	795.2	16.2%
営業利益	61.6	66.9	8.6%
税引前利益	64.5	65.7	1.9%
四半期利益	47.8	45.3	△5.2%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	40.5	35.9	△11.3%
基本的１株当たり四半期利益	273.37円	242.36円	△31.01円
１株当たり中間配当金	20.00円	22.00円	2.00円
	($1=¥104)	($1=¥122)	

税前利益段階で増収増益

16年3月期第2四半期累計　連結決算概況　地域別売上収益

（単位：億円）

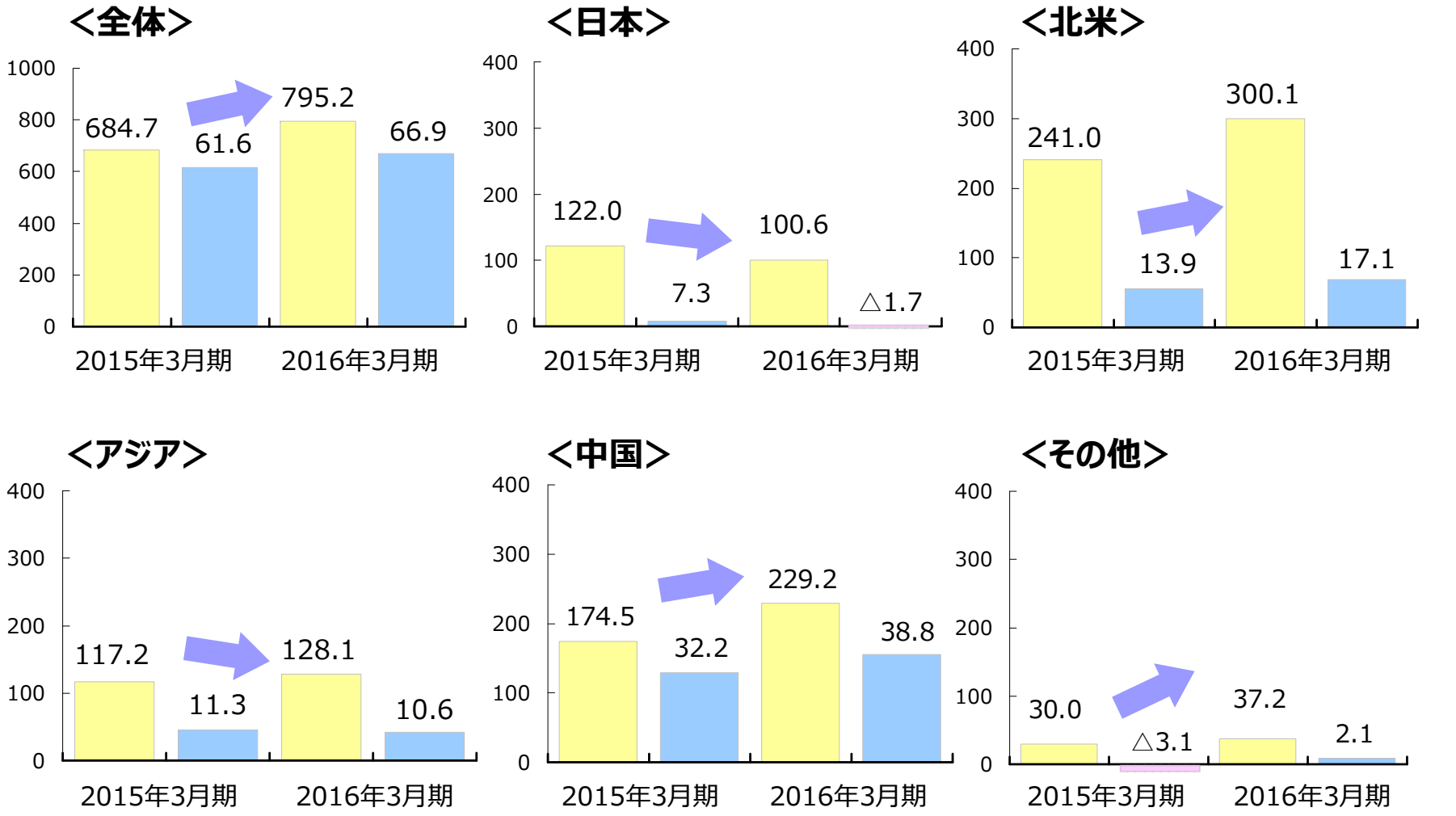
（セグメント間の内部売上収益を除く）



海外（北米･中国）は受注増加により増収

16年3月期第2四半期累計　連結決算概況　地域別営業利益

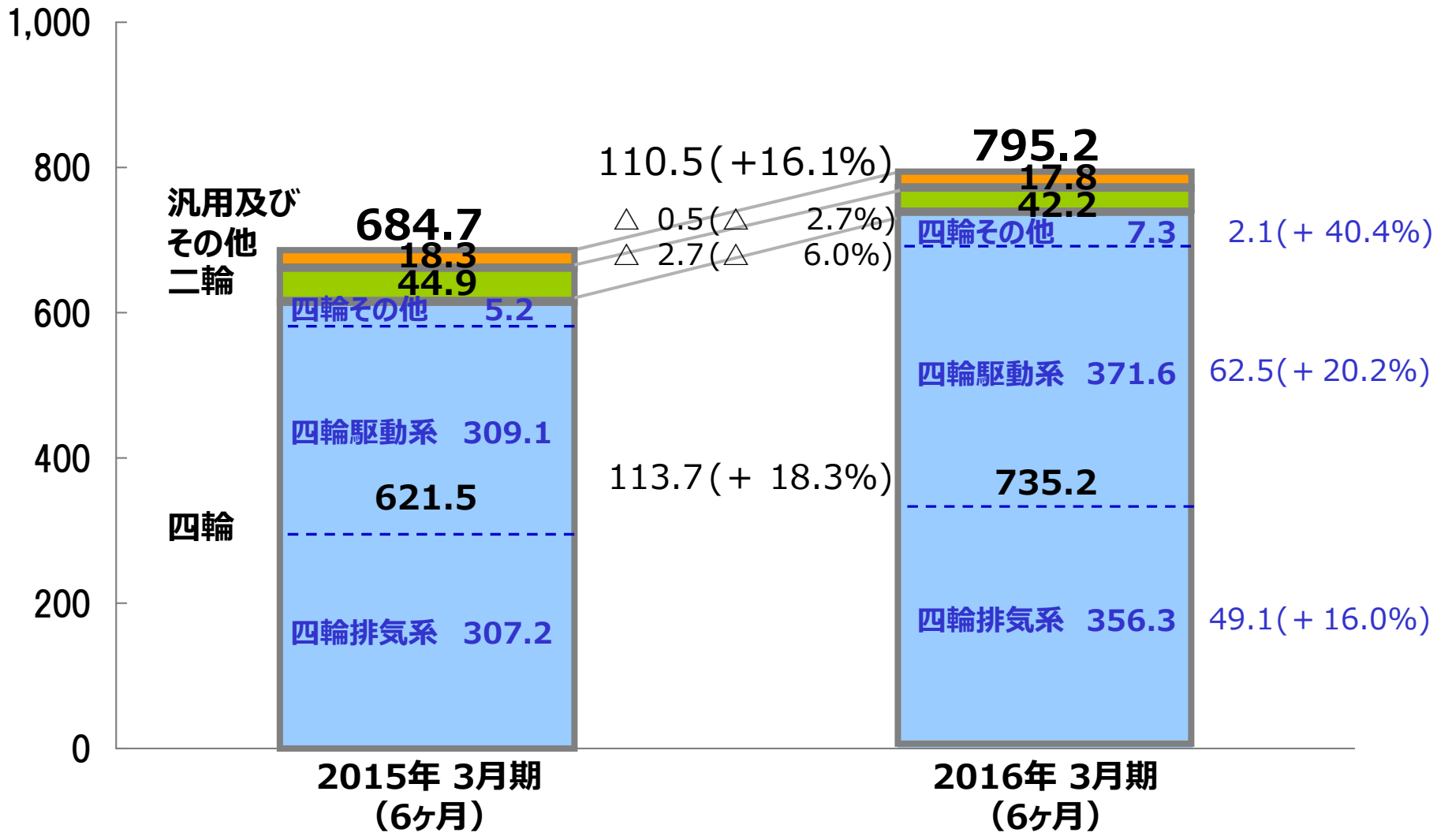
(単位：億円)　　(6ヶ月)　　売上収益　　利益増減　　営業利益



増収効果により海外（中国･北米･その他の地域）は増益

16年3月期第2四半期累計　連結決算概況　製品別売上収益

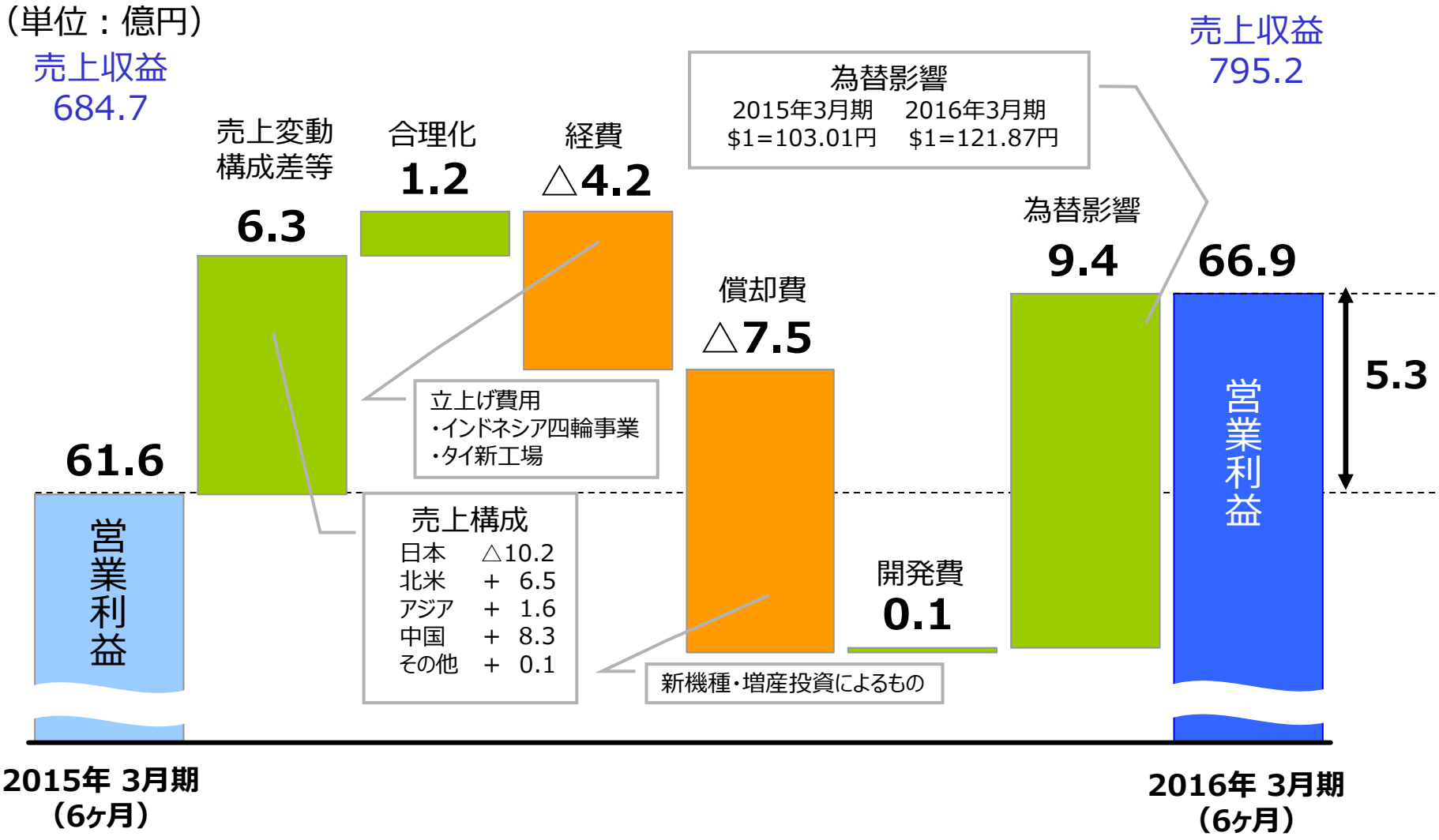
(単位：億円)



自動車部品四輪の受注増により増収

16年3月期第2四半期累計 連結決算概況 営業利益 増減要因

（単位：億円）



償却費や経費の増加があったものの円安効果・売上変動等により
営業利益は前年同期比増益

2016年3月期
通期見通し

16年3月期連結見通し

（単位：億円）

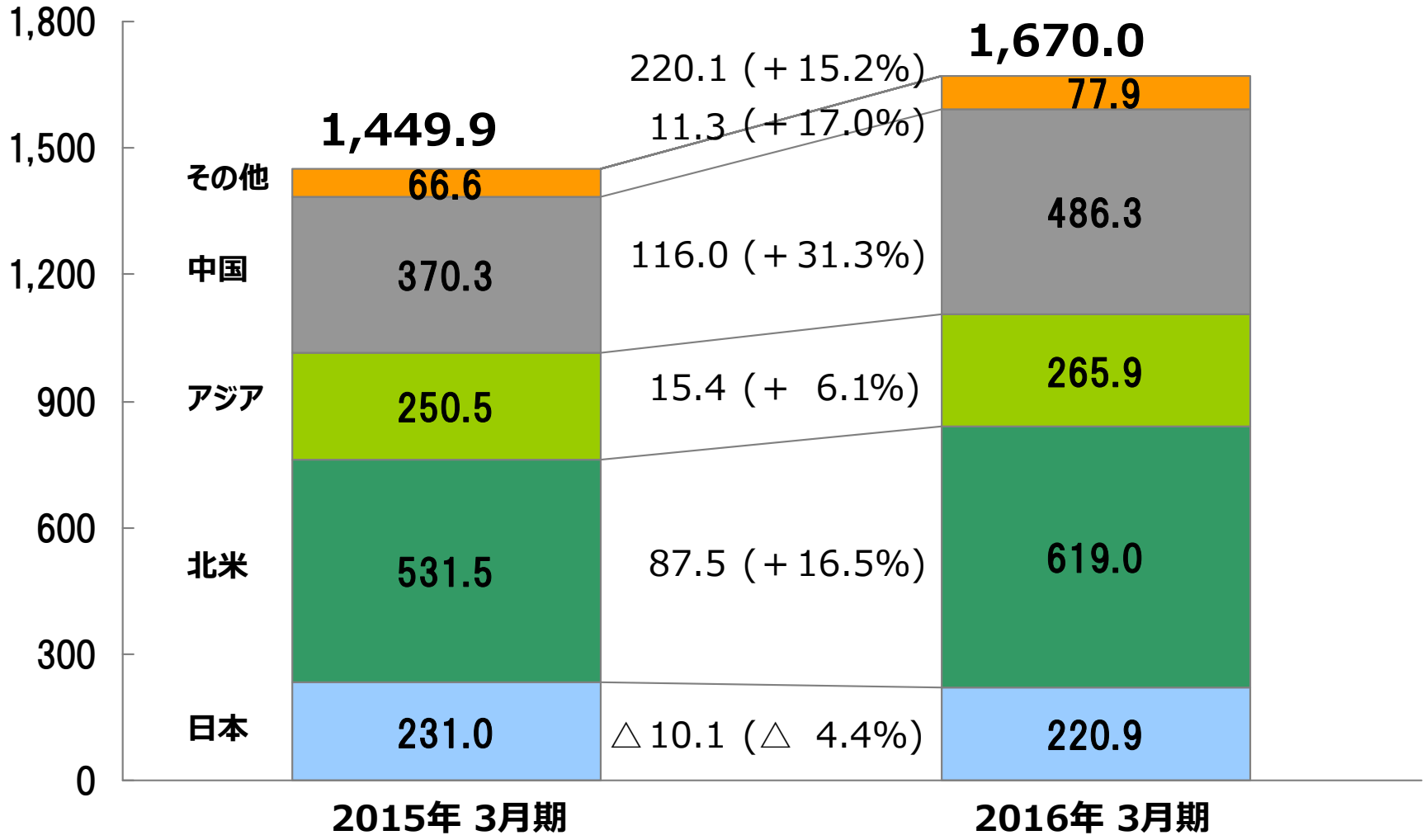
	2015年 3月期	2016年 3月期	増　減
売上収益	1,449.9	1,670.0	15.2%
営業利益	114.9	129.0	12.2%
税引前利益	119.7	128.0	7.0%
当期利益	88.1	88.0	△0.9%
親会社の所有者に帰属する当期利益	75.0	68.0	△9.4%
基本的１株当たり当期利益	506.23円	458.88円	△47.35円
１株当たり配当金	40.00円 ＊中間 20円，期末 20円	44.00円 ＊中間 22円，期末 22円	4.00円
	($1=¥110)	($1=¥118) ※上期122円、下期115円	

通期も税前利益段階で増収増益

16年3月期連結見通し 地域別売上収益

（単位：億円）

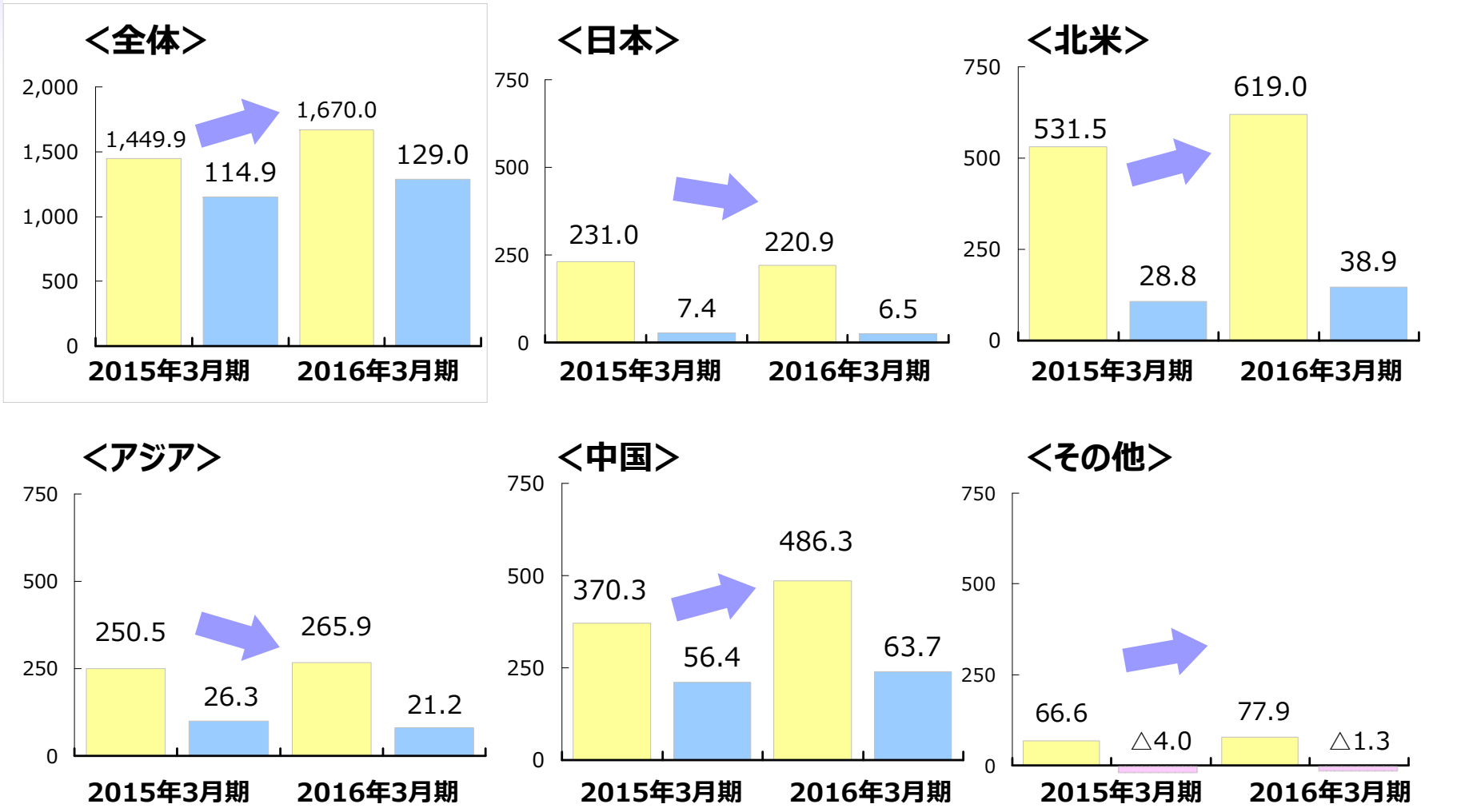
（セグメント間の内部売上収益を除く）



第2四半期同様、海外（北米･中国）は受注増加により増収の見通し

16年3月期連結見通し 地域別営業利益

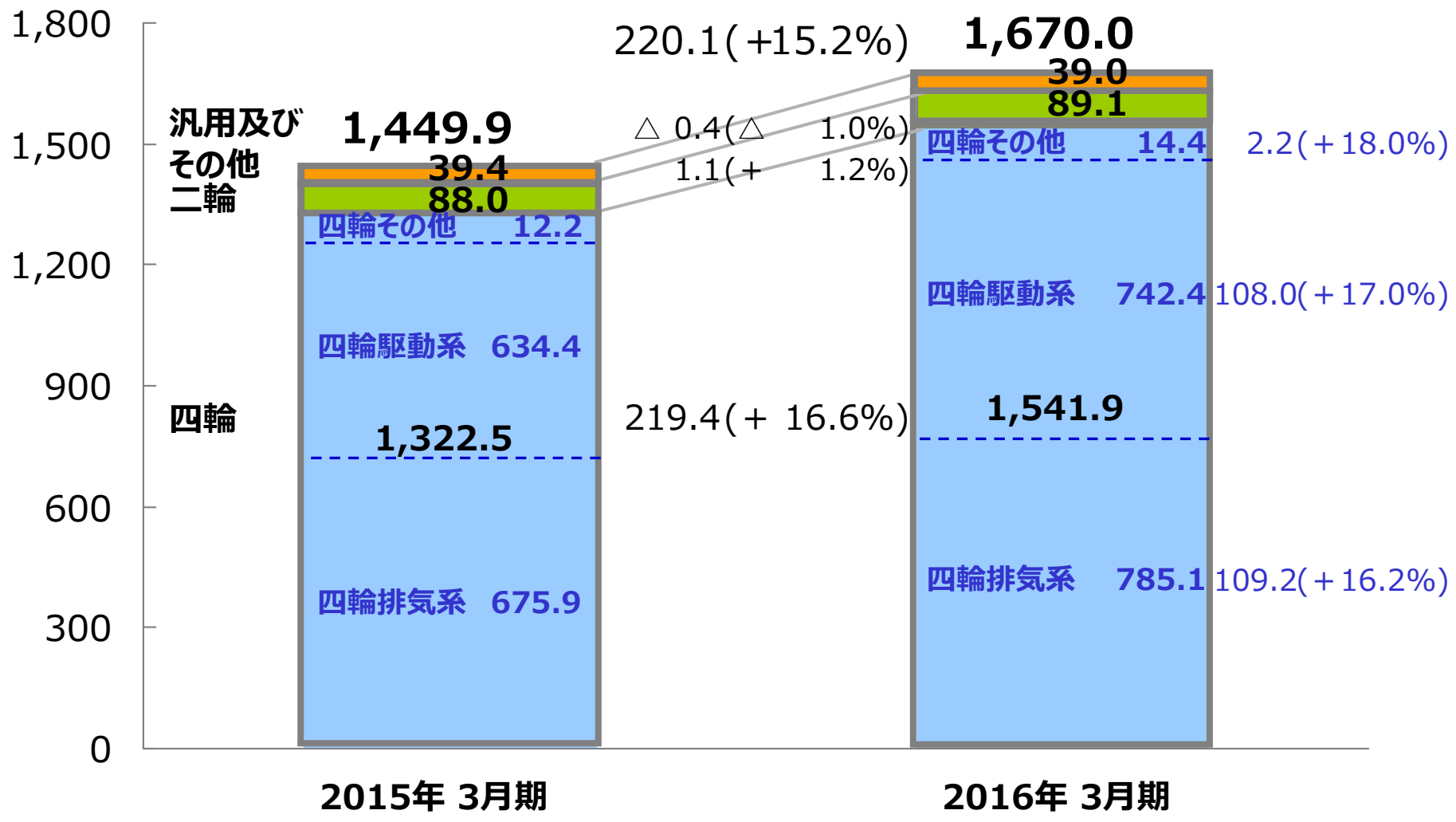
(単位：億円)



北米・中国地域において増益見通し

16年3月期連結見通し 製品別売上収益

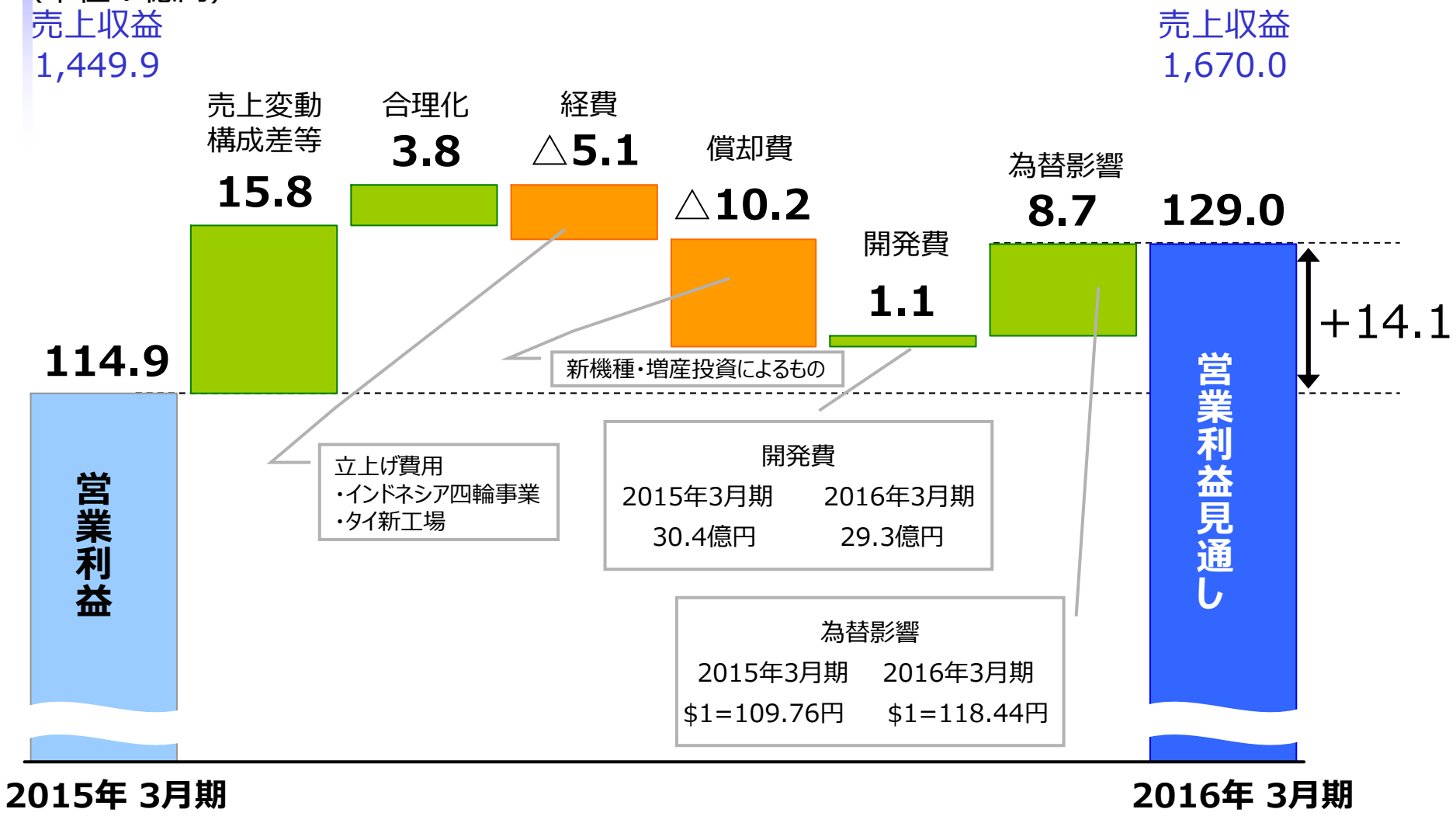
(単位：億円)



自動車部品四輪の受注増により増収

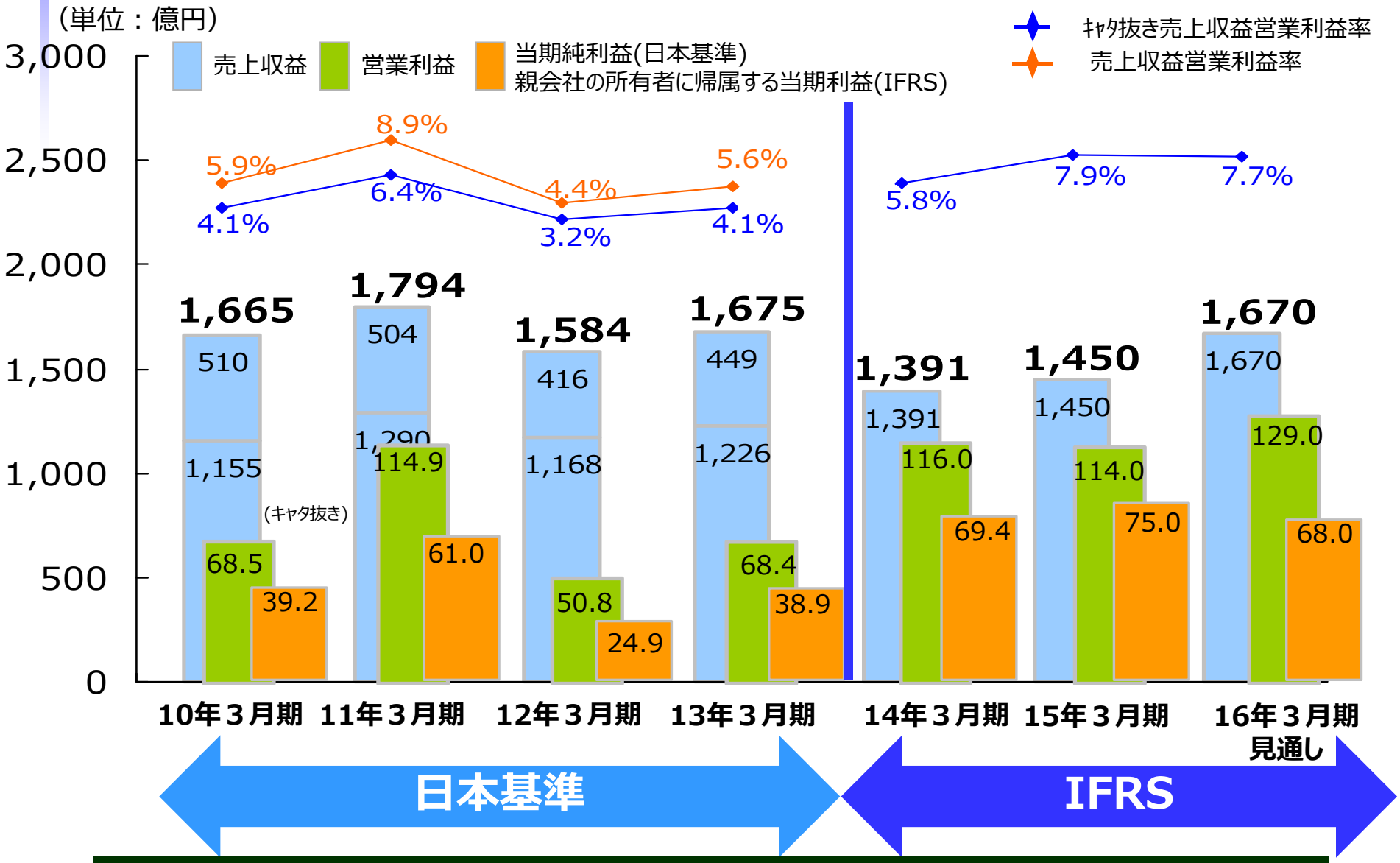
16年3月期連結見通し 営業利益 増減要因

(単位：億円)



償却費や経費の増加を売上変動・円安効果等で吸収し増益見通し

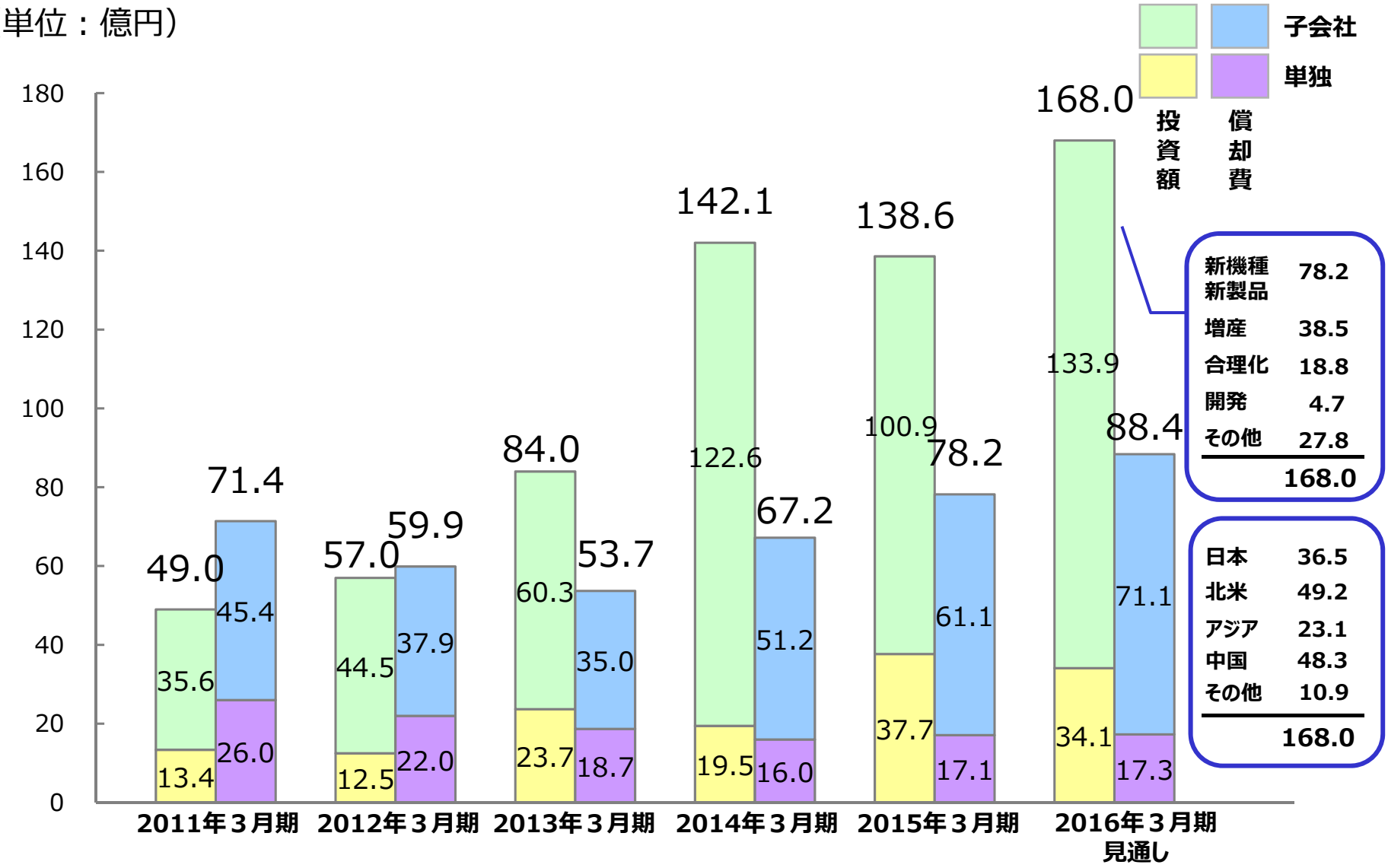
16年3月期連結見通し 売上及び利益の推移



16年3月期は営業利益で過去最高益更新見込み

16年3月期連結見通し 設備投資額の推移

(単位：億円)



新機種・新製品及び増産対応を実施

事業状況

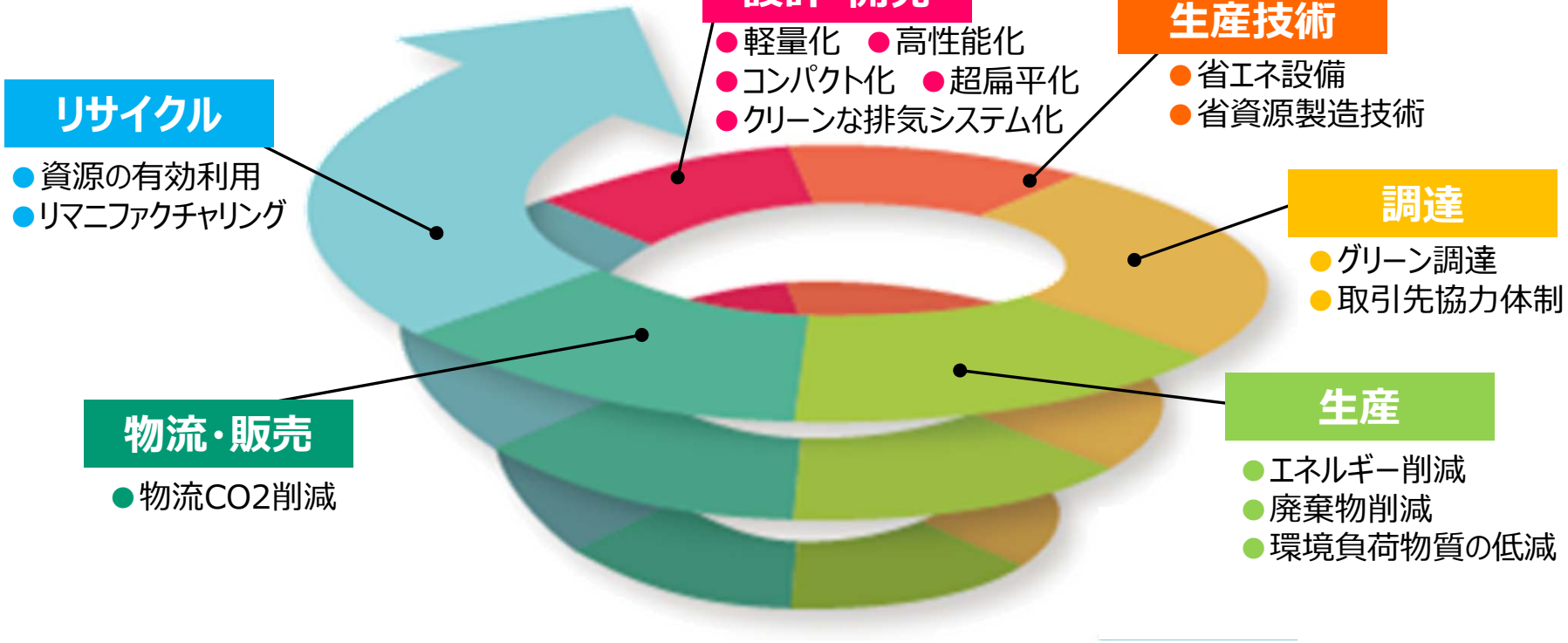
1．環境取り組み
2．最強ラインの取り組み
3．Yutaka新製品

Yutaka環境取り組みのご紹介

Yutaka環境宣言

株式会社ユタカ技研は人間尊重を基本理念とし、世界的な視野に立ち、企業活動において環境に与える影響を当社にかかわる全員が認識して、積極的に地球環境の保全と汚染の防止に努める。

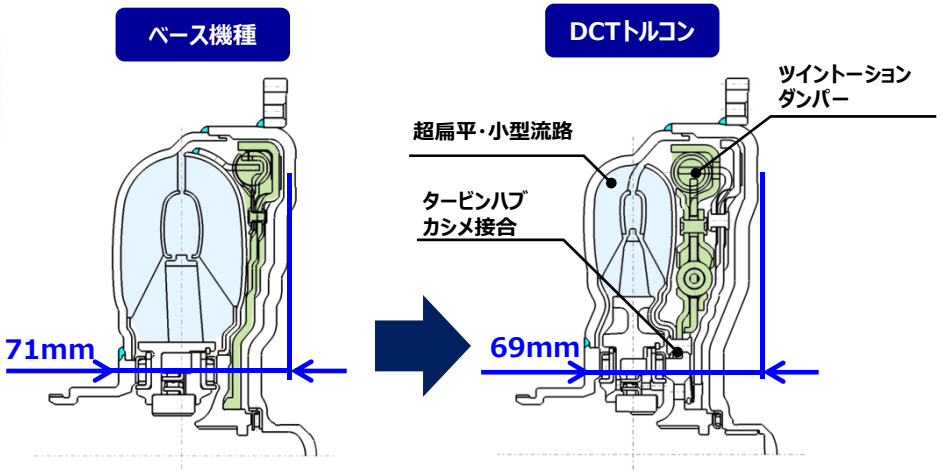
LCA活動 Life Cycle Assessment



CO2削減に貢献するトルクコンバータの開発

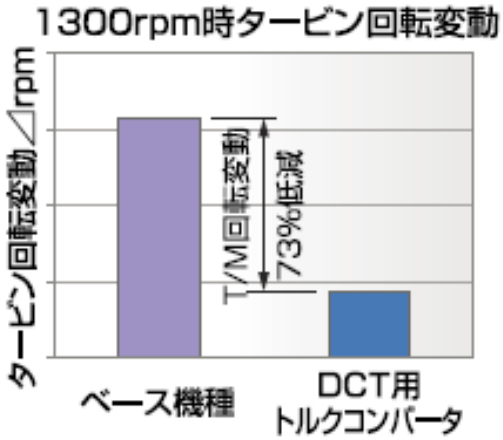


超扁平・小型化



全幅：-2mm

制振性能



制振性能：73%向上

Eco ポイント

燃費向上の実現

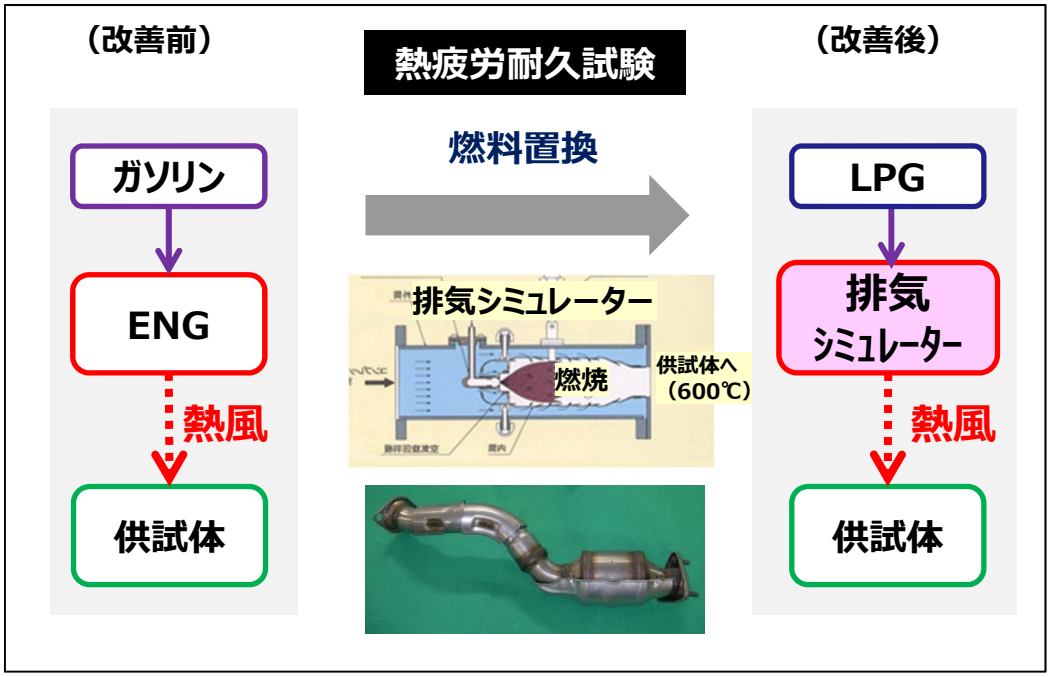
- ■振動・異音の発生を抑制し、ロックアップクラッチ直結領域を拡大
- ■エンジンが最も効率よく回転をする多段ワイドレシオ化の実現
- ■低フリクション化により伝達ロス低減

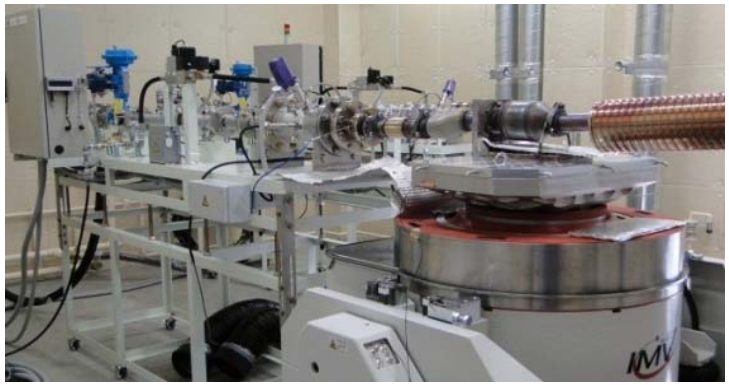
高い制振性能を有する世界初DCT用トルクコンバータで低燃費を実現

※DCT･･･Dual Clutch Transmission

Yutaka環境取り組みのご紹介

開発段階での環境取り組み





1テスト当たりのCO2発生量
60.4→9.6(t-CO2)

50.8（t-CO2)削減

Eco ポイント

CO2の削減

■ガソリンエンジンの排気ガス熱利用を、熱効率の良いLPG排気シミュレーターに置換しCO2を削減

開発段階でもCO2発生量の大幅削減を達成

YUTAKA Clean for the Future

環境取り組みのグローバル展開

海外拠点の環境担当者を招き、環境取り組みと見える化推進手法の理解を図る。



中国



アメリカ



研修内容

- 地球環境問題の把握
- 拠点環境活動報告
- 見える化展開方法
- Yutaka削減施策の見学

タイ



Eco ポイント

共有・連携

■拠点での様々な環境取り組み事例を学び、自拠点への展開を図る

グローバル環境マネジメントの強化

中国キャタリストコンバータ最強ライン拡大展開

YUTAKA Clean for the Future

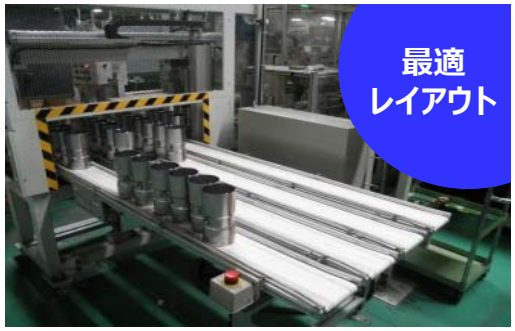
生産効率の劇的な向上を目指し「最強ライン」展開を実施
海外拠点第一弾として中国CFFでキャタリストコンバータラインを構築



CT短縮
省人化



工程集約
自動化



最適
レイアウト



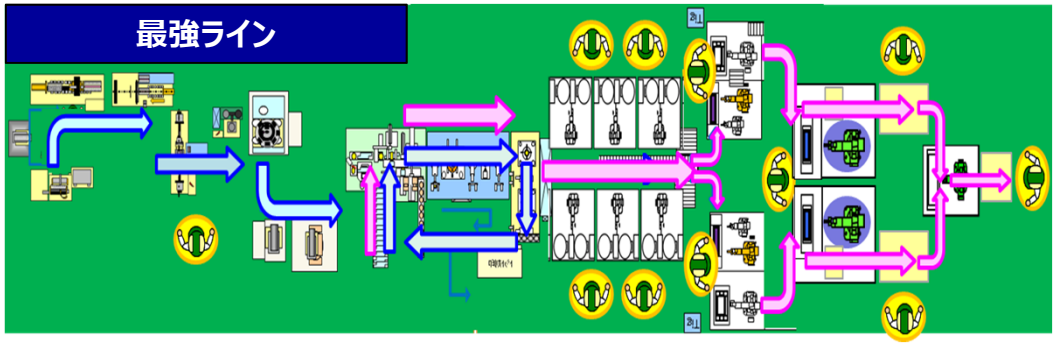
検査の
自動化

要員効率 2.5倍

【Before】
要員効率：29台/人

【After】
要員効率：74台/人

吐出し量向上　省人化





全製品・全拠点で最強ライン構築展開を推進

Yutakaキャタリストケース　SUZUKI アルト ターボRSに搭載

アルトターボRS



キャタリストケース

- Yutaka得意のプレス技術による廉価構造
- 軽量・コンパクト化
- 耐久信頼性に優れた仕様・構造



2015年3月発売　SUZUKI　アルト ターボRS

Yutakaブレーキディスク　RC213Vレプリカに搭載

新開発

レースで培った技術を量産車にフィードバック

Honda RC213V-S

2015年10月発売



Moto GPクラス2連覇を達成したRC213Vの
一部仕様を変更しレプリカマシンとして量産発売

技術

Moto GPで実証されたレース技術

- ■コンピュータ解析による最適摺動部孔配列
- ■軽量・高強度のトラス形状ハブ
- ■熱ひずみに強いディスクフローティング構造

**量産車初 レーサーと同じフルフローティング
ディスクをフロントに採用**

フロントディスク



リアディスク



YUTAKA
Clean for the Future

